

カトリック河原町教会だより

2021年1・2月

教皇フランシスコ

2020年10月25日「お告げの祈り」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

今日の福音朗読(マタイ 22・34-40 参照)では、一人の律法の専門家がイエスに尋ねます。「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか」(36 節)。イエスは「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」(37 節)と簡潔にお答えになり、すぐに「隣人を自分のように愛しなさい」(39 節)とつけ加えておられます。それはわたしたちの人生における二つの本質的な掟でもあります。第一に、道徳的、宗教的な生き方とは、心配しながら従うことを余儀なくされるものではなく、その源を愛とするものであるとイエスは教えておられます。第二の掟は、愛は神にも、隣人にも、区別せずに一緒に向けられるということです。また同様に、神との結びつきから生まれない愛は、真の隣人愛ではないと教えておられるのです。

わたしたちは神の賛美をないがしろにしがちです。感謝の祈りや、何かを求める懇願の祈りは唱えますが、賛美することは忘れていきます。神の賛美は、まさに祈りの核心です。兄弟愛とも呼ばれる隣人愛は、寄り添うこと、耳を傾けること、分かち合うこと、世話することにより実践されます。使徒ヨハネは記しています。「目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません」(一ヨハネ 4・20)。ですから、二つの掟は一つなのです。

今日の福音箇所の中でイエスは、愛がほとばしる生き生きとした泉に向かうよう、わたしたちを再度、励ましておられます。その泉はまさに神ご自身であり、何事も、だれも引き裂くことのできない交わりのうちに完全に愛するための泉です。その交わりは日々、願い求めるたまものであると同時に、この世の偶像にとらわれないよう努める各自の営みでもあります。兄弟姉妹に心を閉ざしているかぎり、イエスが望んでおられる弟子とは程遠い存在になります。それでもイエスのいつくしみは、わたしたちを失望したまま放っておかず、福音をつねに生きるために、日々、新たに歩み始めるよう呼びかけています。「もっとも重要な掟」をわたしたちが受け入れることができるよう、至聖なるマリアがそのとりつぎによって助けてくださいますように。

教会の様子(インスタグラムより)



いのちへのまなざし

洛東ブロック担当司祭 瀧野 正三郎

「21世紀への司教団メッセージ」として2001年に発行された『いのちへのまなざし』に大幅な改訂を加え、第二章以降を全面的に書き改めた「増補新版」(2017年3月17日発行)。混迷を続ける現代社会の中で「時のしるし」を見極め、いのちの尊厳といのちのさまざまなつながりを深く尊重するよう変わることなく訴えていく、新たな司教団メッセージです。

(105) すべての人に向けて

二十一世紀を迎えたころから、日本司教団のメッセージは、カトリック信者のみならず、すべての人に向けて発表されることが多くなりました。それは、わたしたちの関心が、信仰の内容にとどまらず、広く人間のいのちと尊厳全般にかかわる問題に直接向けられるようになったことを意味しています。教会は、どのように天国に行くのかという視点だけではなく、どのように神の望まれる世界を実現するか、という点に目を向けるようになりました。つまり、具体的に人間の生きる現実を見つめ、人間の限界を認めながらもなお、よりよく生きるためには何が問題で、その克服のためにどのような視点を提供できるか、という点に目を向けるのです。実は、それは聖書のメッセージとイエス・キリストの生き方からすれば、本来あるべき姿にやっと近づいたということにすぎません。

(107) 真理に向かった歩み

もちろん、教会はすべての問題を解決する妙案や回答をもっているわけではありません。教会は、信仰の感覚と伝統を大切にしつつ、たえずキリストに立ち帰り、新しい時代の人間の問題に向かい合って悩み、考え、議論しています。わたしたちは不完全な存在ですから、このメッセージも不完全なものにすぎません。それでもわたしたちは不完全な人間として、神が聖書を通して示す真理に向かって歩むことをあきらめず、同時にこの不完全さをもった人間をいつくしむ神のまなざしを受け取り、伝えたいと願っています。

経済効率や社会的立場を優先し、人と人とのつながりや支え合いを見失いつつあるこの社会の中で、どこかに居心地の悪さを感じ、本当はもっと大切なものがあつたはずだ、と感じている人にとって、このメッセージがいのちを考えるための手がかりになることを願っています。



目次

第一章 聖書からのメッセージ

第二章 人生の歩みの中で

一 いのち—誕生から成長

1 誕生 2 成長していく歩みの中で 3 性の目覚め

二 成人・結婚

1 就労と人間の尊厳 2 家庭を築く 3 新しいいのち

三 老いを生きる

1 老いを迎えるということ 2 高齢社会と教会

第三章 生と死をめぐる諸問題

序—生命操作と生命倫理

一 生と死の尊厳

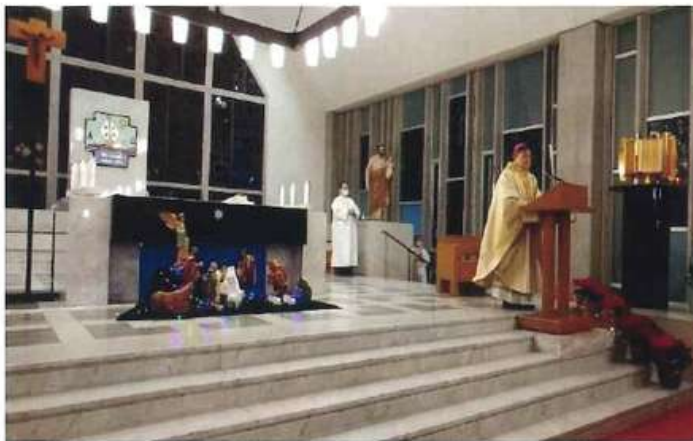
1 出生前診断と障害 2 ヒト胚の操作 3 終末期医療 4 脳死と臓器移植 5 自殺/自死 6 死刑

二 いのちを脅かすもの

1 環境問題 2 原子力発電 3 格差と貧困 4 差別 5 戦争・暴力

クリスマス(主の降誕)ミサの様子

2020年12月24日・25日にコロナ禍の中、クリスマス(主の降誕)ミサが行われました。クリスマス市民の集いは取りやめ「夜半のミサ」のみを6回行う等、密にならないよう工夫して行いました。参加者は12月24日18:30-92名、21:00-59名 25日7:00-43名、10:30-112名、13:00(英語)-97名、18:30-62名でした。



ミサ休止中のミサライブ配信の案内

公開ミサ休止中に菅原神父が日曜日朝7:00よりYouTubeにてミサのライブ配信を行っています。



ライブ配信に少し抵抗感を持っておられるかもしれませんがスマホでもパソコンでもインターネットの接続環境があれば見られます。

日曜の朝が忙しい方や朝起きられない方でも翌日まで録画配信されているのでご自分の都合がいい時間帯に見ることができます。

まだ見たことがない方や他のライブ配信を見られている方にも一度見て頂けますようお願いいたします。

「オンラインきょうかいがっこう」か「くまたくんの忘れたい場所」で検索してください。

河原町教会ホームページでも随時案内しています。

◇2021年2月～4月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
2	2	火	主の奉献
	3	水	福者ユスト高山右近殉教者
	5	金	日本 26 聖人殉教者
	7	日	[年間第5主日]
	11	木	世界病者の日
	14	日	[年間第6主日]
	17	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) 四旬節愛の献金
3	21	日	[四旬節第1主日]ブロック四旬節黙想会(伏見教会)
	28	日	[四旬節第2主日]
	7	日	[四旬節第3主日]
	14	日	[四旬節第4主日]
	17	水	日本の信徒発見の聖母
	19	金	聖ヨセフ
	21	日	[四旬節第5主日]
	25	木	神のお告げ
	28	日	受難の主日(枝の主日) 世界青年の日
	31	水	聖香油
4	1	木	聖木曜日(主の晩さん)
	2	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)聖地のための献金
	3	土	聖土曜日/復活徹夜祭
	4	日	復活の主日
	11	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日)
	18	日	[復活節第3主日]
	24	土	洛東ブロック会議14:00
25	日	[復活節第4主日] 世界召命祈願の日	

お 知 ら せ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2020.12.25 ウィリアム・コンラッド ガーゲン・ウィリアム・コンラッド

◆転入 ようこそ 河原町教会へ

2020.12.15 ミカエル 西館 輝義

2020.12.24 マリア・エリザベト 小林 まゆか

2020.11.26 アグネス 木戸間 玲子

2021.1.12 テレジア 勝部 千香子 ニコラス 勝部 星比古 アンナ 勝部 真理子

◆転出 どうぞお元気で

2020.12.4 マリア 今井 千恵子

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2020.10.29 テクラ エッガー庸子 2020.11.21 マグダレナ・マリア 吉田 千壽子

2020.11.26 パウロ・ヴィアンネ 田中 泰一 2020.11.26 ルカ 夢田 貴幸

2020.12.21 アグネス 門間 清子 2021.1.7 セシリア 秋山 信子

2021.1.11 トマス・アクィナス 齋木 嘉三郎 2021.1.25 マリア 金澤 智子

ミサの時間

公開のミサ・集会祭儀は
休止中です。「瀧野神父の主日のみことばに
ついての解説を河原町教会ホー
ムページをご覧ください。」

ミサライブ配信(菅原神父)

日曜朝 7:00 より

「オンラインきょうかいがっこ
う」か「くまたくんの忘れない
場所」で検索してください。
また河原町教会ホームページで
も随時案内しています。尚、公開ミサ再開の予定が決ま
ればウェブサイト等でお知らせ
いたします。

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座(菅原神父)

木曜日 10:00

土曜日 11:00 14:45

主に信徒向け

読書会

パウロ六世『福音宣教』読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を読む会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

「ヘブライ人への手紙」を読む
毎月第1土曜日 19:10(菅原神父)

一般向け

信仰入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室か
rakuto.nyumon.class@gmail.com
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2021.1・2 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785

FAX:075-211-8021

URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>